

杜の伝言板

ゆるる

特集

復興への道

被災地の復興には
NPOの活動がカギ
全国へ向かって情報発信

●NPO法人杜の伝言板ゆるる

食を通じて幸せを

●NPO法人ハッピート大崎



▲ NPO法人仙台夜まわりグループ

健康と自然環境を
保全するために

●NPO法人自然農食みやぎ

日頃の活動から
「食べられない人々」の支援を

●NPO法人仙台夜まわりグループ

海外からの支援をつなぐ

●NPO法人宮城英語教育支援協会



▲ NPO法人自然農食みやぎ



●みやぎNPOプラザ

シニア世代のNPO活動への一歩を支援
～50歳からのNPO実践塾～

被災地の復興には NPOの活動がカギ 全国へ向かって情報発信

●NPO法人杜の伝言板ゆるる●

二〇一一年三月十一日の東日本大震災から一年が過ぎ、全国からの寄付やボランティアの参加も減少し、震災への関心が弱まっています。しかし、被災地では将来的な不安や心の悩みを抱えた被災者が多く、自立した生活へ向かうための課題も依然として山積しています。その被災者にとって、これまで寄り添うように支援してきた地元のNPOの存在は、復興に向かって歩みだすための強い味方として、ますます期待が高まっています。この状況を踏まえ、昨年四月から「復興への道」としてNPOの活動を発信してきたNPO法人杜の伝言板ゆるる(以下、ゆるる)は、全国に向けて宮城県内で活動する地元NPOの姿を発信し、震災の風化を防ぐと共にNPOへの応援を訴えるキャンペーンを、宮城県の委託事業として展開しています。

復興िंगみやぎ with NPO

その一つは、フリーペーパー「復興िंगみやぎwith NPO」の発行です。月刊ゆるるで昨年四月から特集に掲載した五十を超える団体の中から二十団体の紹介記事を抜粋したほか、県内の社会福祉協議会が運営している災害ボランティアセンター十一か所を掲載し、全ページフルカラーで紹介。内容は、仮設住宅の集会所でお茶会やサロンを実施したり、傾聴による心のケア活動、被災した小中高生の学習指導、障がい者の支援活動、被災動物の救援活動など、復興に向かって貢献している様々な団体の活動を紹介しています。このフリーペーパーは、五千部発

行し、震災関連のイベント会場で配布するほか、首都圏の企業の社会貢献担当部署に配布されています。

更にホームページ「復興िंगみやぎwith NPO」を作成し、インターネットでの発信もしています。現在はフリーペーパーに掲載した二十団体の紹介のほか、地元NPOが行った復興支援関連のイベント情報や活動報告なども掲載。今後は復興支援活動をする団体の掲載数を増やし、全国へ復興に向け頑張っている地元NPOを知らせると共に人や資金の支援を呼び掛けていきます。

三か所で震災時の 報告会と写真展

三月には大阪、福岡、東京の三か所で震災後の活動を話す報告会と仙台のNPO法人二十世紀アーカイブ仙台(以下、アーカイブ仙台)の協力による写真展「三、一一 市民が撮った震災記録展」を開催。実際に被災し、被災地で活動を再開しているNPOのリーダーから、震災から現在までの活動を報告してもらい、被災地から遠い地域で何が出来るのかを考えてもらいました。

アーカイブ仙台は、古き仙台を後世に残し、過去のつながりを実感できるように、アーカイブ(記録)化をする活動を目的に二〇〇九年に設立されたNPO法人です。昭和に撮った八ミリフィルムや写真などをアーカイブ化し、高齢者施設で行う認知症予防の回想レクレーションや、昔懐かし写真展などを開催しています。震災後はツイッターやウェブ上で、市民自らの東

日本大震災時の震災体験画像を市民から募集し、四月にはウェブサイト「三、一一 市民が撮った震災記録」を立ち上げました。これまでに多くの市民から一万八千枚もの写真が寄せられ、今年三月には、風化を防ぐ目的と共に、将来役立つであろう記憶遺産として写真、千五百枚と画像提供者の震災体験記録をまとめた「三、一一 キラクのキラク」を出版しました。副理事長の佐藤正実さんは「この記録は、今はまだ必要のない資料かもしれませんが、しかし、報道では伝わりきれない記憶を後世に伝えていくことが私たちの役割だと思っています。」と言っています。

また、これらの写真をパネル化し、全国に貸し出し、北海道から九州までの日本全国のほかイタリアでも、写真パネル展を開催しています。

大阪梅田

「3.11 from KANSAI」

三月十日と十一日に、大阪市で行われた東日本大震災復興応援イベント「3.11 from KANSAI」はまだまだ、これから。復興への祈りを捧げると共に、ボランティア活動について考え、復興商品の販売、関西への避難者への情報提供、関西に避難



▲ 3.11 from KANSAI 写真展示の様子

して来た人々の交流会など、関西から市民ができることを一緒に考えるイベントです。(社福)大阪ボランティア協会や大阪府社会福祉協議会など六団体が構成する実行委員会が主催しました。また、イベントには積水ハウス株式会社を始め、大阪ガス、近畿ろうきんなど二十四社が協賛しています。

ゆるるは、宮城県主催のパネル写真展「三・一一 市民が撮った震災記録展」とフリーペーパー「復興ingみやぎ with NPO」を配布する企画で



▲ 社の伝言板ゆるる 大久保朝江代表理事

参加。初日の十日には、ステージでオーピングセレモニーがあり、実行委員長のあいさつに続いて、ゆるるの大久保朝江代表理事が「宮城の復興には地元の人々が自立するために支援活動をするNPOが欠かせません。被災地のことを忘れず、これから継続して被災地の支援活動をしていく地元NPOをどうぞ応援してください。」と会場の市民に呼びかけました。

一年前に大震災があった三月十一日は、ステージでは追悼する企画があり、宮城県の山元町からNPO法人住民互助福祉団体ささえ愛山元の理事長中村玲子さんが当時を振り返りました。

「高齢者施設一つを津波に流されて、私も十四時間海水に浸かりました。あの日のことを思えば、まだまだ私に

出来ることがあると思えます。それは地域の皆さんの為に活動することであり、あの体験を



▲ 中村玲子さんのお話

伝えることです。多くの皆様からの支援を受け背中を押され、もう一度立ち上がることが出来ました。でも海岸沿いは遠くからでも海が見えるほど一軒も家が無くなっていきます。これからも震災を忘れないで応援して欲しい。」と震災当日の思いと感謝の気持ちを伝えました。出展ブースでは、二十枚のパネルに写真四十枚を展示したほか、アーカイブ仙台が市民から寄せられた写真をもとに作成したDVDを上映。写真展を見た大阪市民の中には、大震災の惨状や震災後の生活ぶりを真剣な眼差しで見つめ、涙を流す方も。遠く離れた大阪の会場に出展するにあたり、積水ハウス本社の皆さんの準備や終了後のサポートと、シャープ株式会社からのボランティア五人のお手伝いを得ました。感謝。

福岡天神で「復興への道はまだまだこれから」

福岡では宮城県主催、NPO法人ふくおかNPOセンターの共催による「復興支援活動をする被災地域NPOの報告会&写真展 in福岡」を開催。三月十八日〜二十三日が写真展「三・一一 市民が撮った震災記録展」、三月二十

日には、報告会「宮城県の被災地は今、復興への道は まだまだ、これから」を行いました。ふくおかNPOセンター代表理事の古賀桃子さんが進行役となり、報告は石巻市で被災したNPO法人輝かなかまチャレンジの理事で、障がい者地域活動支援センター「ころさわり」の施設長でもある内海幸子さんが行いました。

内海さんは、震災当日の状況や、八日間の施設ビル内での自主避難状況を詳細に話し、今後について「震災以前に使用していた施設は地盤沈下してしまい、冠水するようになってしまった為、障がい者が通うことが困難になりました。現在は仮設住宅の集会所に間借りして活動をしています。二年後には出なければなりません。今は新たな施設を建築するための土地探いや資金の工面をしています。ぜひ、応援してください」と、話しました。その後、ゆるるの大久保代表理事が、宮城県内の津波や地震で被災したNPOの状況や被災地の支援活動をするNPOについての報告をしました。

司会の古賀さんは、「復興はまだまだこれから」という言葉の通り、この長い道程を、皆さんと一緒に福岡の地からも様々な形で支えたいと思います。」と呼びかけました。



▲ 福岡会場報告会

西麻布で被災地の現状報告

三月二十六日、東京都にあるcolor西麻布で、写真集「三・一一 キラクのキラク」出版記念トークショーが開催されました。主催は、クリエイターや編集者など多数参加している、東日本大震災の被災地の復興支援をサポートする在京の「311 photos」です。今回のメインゲストは、アーカイブ仙台の副理事長佐藤正実さん。出版を記念して、佐藤さんとヒアリングと執筆を担当した片岡理恵さんのトークショーを行い、画像投稿サイト設立の動機や経緯、ヒアリング時のエピソードなど、さまざま製作用秘話を繰り広げました。その後、大久保代表から、被災地である宮城県の復興復旧の進捗状況や、被災地の課題やニーズについて話し、これからの復興にはNPO活動が重要である事を訴えました。

被災地で支援活動が続ける地元NPOの力が復興の一翼を担っていることはいうまでもありません。五年、十年とかかる復興への長い道程には、継続的に被災した人々に寄り添った活動や被災した地域住民が自ら行動を起こす活動がとて重要になります。震災から一年が過ぎ、風化という言葉がささやかれている中、今後ゆるるでは地元NPOの活動を応援し、広く全国に向かって情報を発信していきます。

NPO法人杜の伝言板ゆるる
 ●URL <http://www.yururu.com/>
 復興ingみやぎ with NPO
 ●URL <http://miyagi-fukkouing.jp/>

食を通じて幸せを NPO法人ハッピート大崎

ハッピート大崎は「食べ物からいた
だこう 元気なところからだ」を
キャッチフレーズに、「食べることの幸
せ・楽しさを考える市民の会」として二
〇一〇年に発足し、同年五月にNPO
法人化しました。お米や農産物といっ
た食材豊富な大崎市を拠点に、管理栄
養士、看護師、主婦らで組織され、活動
を開始しました。法人名は、「食を通じ
て幸せを」という気持ちを込め、ハッ
ピー(Happy)とイート(Eat)を掛け合
わせた、造語からなっています。

緊急時の食生活

震災直後、代表の千島優子さんは、
「一人暮らしのお年寄りの皆さんは大
丈夫だろうか」と感じ、大崎市から委
託事業で行っていた高齢者宅の訪問
を翌日十一日、ガソリン不足の中、魚
や野菜、ごはん、みそ汁を持参し動き
出しました。

千島さんを中心としたメンバーは、
日本栄養士会に所
属していることか
ら、三月末から訪
問事業と並行し
て、気仙沼へ入り
栄養対策の検討



▲代表の千島優子さん

と、これからの
対策のため
食事調査と栄
養指導に当た
りました。そ
の際、一定量
の食材を届け
たり、均等に
行きわたるよ
う仕分けをし
たりすること
は、個人で行
うには限界があり、組織として支援を行
わなければと気づかされました。そし
て、食事は支援物資だけだったために、
栄養バランスに偏りがあり、「食改善が
必要だ」と感じ、これは気仙沼だけでな
く、県内の被災した人全てが当てはまる
のでは、と考えるようになりました。



▲食についてのお話

震災後から支援に入っていた加美町
の二次避難所では、消化器症状(注)が
表れる避難者が多く、とにかく食べる
ものを提供する緊急救援段階から、食
べるものの提供及び、体調を取り戻す
食事の提供⇨避難生活段階へと移行。
体調の悪い方々には、お粥や野菜を中
心とした食事を準備し、提供しました。
みるみる元気になる方々に接し、「身体
⇨食べ物からできている」とことを実感

しました。
六月には、NPO団体から支援をい
ただいたパソコンや書籍などを被災地
にお届けし、南三陸町では保育所の献
立等の支援も行いました。
十月からは、宮城県健康支援事業で、
登米市南方・津山にある南三陸町の町
外仮設住宅、そして石巻蛇田地区にあ
る仮設住宅三ヶ所へ、四名程のメン
バーで栄養相談会を計画して実施。合
わせて参加者の皆さんの自宅にある、
炊飯器や電気ポット・電子レンジを活
用した、簡単エコクッキング教室と希
望する方には、個別相談の時間を設け
ました。相談会では、「話す、書く、考え
る、実践する」をベースに進められ、料
理をしながら栄養バランスを考え、自
分の食生活を確認できるシートを書
き、食生活を見直すことができる時間
構成にしました。作った料理を介して、
仮設住宅の近所通しの「おすそ分け」を
参加者にお願ひし、そこから新しいつ
ながりができるように、という気持ち
を込めています。

支援にあたるメンバーには、地元石
巻で被災した管理栄養士の方も加わり
活動しています。「これからも地域で継
続した活動をしてもらいたい。地元の
方が元気になる活動をしたいのです。」
と千島さん。
参加者からは、「あらためて食事の大
切さを実感しました」や「食の大切さが
わかり、考えなしに食べるのではなく、
バランスを考え作ることが大事だと思
いました」という声が聞かれました。三
月末でこの事業は終了しますが、次年
度も継続され回数を増やし行われる予
定です。

食の大切さを 知ってもらうため

仮設住宅へ
の支援だけで
なく、活動拠点
の大崎では、旬
を味わう会と
題し、地元住民
の方を対象と
した収穫体験
をし、世代間交
流をはかりま
した。乳幼児か
ら高齢者まで
の参加者の皆さん、そして被災地気仙沼
からも、栄養支援でつながりのできた方
の参加もありました。その他、市内の小
校での食育講座や、放課後児童保育事業
を行っている地元NPO法人と連携し
て、子どもたちの調理実習を開催し、独自
事業も震災後継続的に実施しています。
「食を通して、自分を再構築し、生活リズム
を取り戻すきっかけになれば」と千島さ
ん。これから
も、作る楽し
さや食と向き
合う大切さを
知ってもらっ
たため、多角的
な活動を続け
ていきます。



▲南方仮設住宅集会所での会食

(注)消化器症
状：嘔吐や吐
気、下痢、便秘と
いった体調不良
から表れる症状

NPO法人ハッピート大崎

- 大崎市古川駅前大通1-5-18
ふるさとプラザ内
- URL <http://blog.canpan.info/happyeat>

健康と自然環境を

保全するために

● NPO法人自然農食みやぎ

NPO法人自然農食みやぎは、二〇〇七年二月に、庭や休耕地を利用した家庭菜園で無農薬野菜を栽培し、可能な限り穀物及び野菜中心の自給自足の農的実践・普及することを通して、健康の維持と心豊かなライフスタイルを確立し、以て、健全な地域づくりに寄与することを目的として設立されました。

活動内容は、市民農園の斡旋、共同農営による穀物の栽培、自然農教室の開催などを通して、安全な野菜を自らの手で生産し、それを食することで健康を維持し、自然環境の中で自分を取り戻せる農的生活等を満喫しながら、市民の生き甲斐の向上と国の休耕地問題の解決、さらには食糧自給率の向上に寄与していくことを目指しています。

今、宮城県の耕作放棄地は六三〇〇ヘクタールにも及びます。この対策に国も県も頭を痛めています。この耕作放棄地を市民に開放してもらい、家族とともに週末農園を親しみ、しいては地域住民のコミュニティ回復に貢献できることを願っています。

ガレキ・ヘドロの臭い消しに威力発揮!

震災後の三月二十日頃から石巻の支

援に入り、ガレキ撤去、水産加工品の腐敗臭や、避難所共同トイレ等



▲ 除染作業

EM菌(注)散布を開始。

その後、多賀城市仙塩病院内の衛生対策によるEM散布、七ヶ浜町のガレキ撤去、巨理町・浜吉田地区では五十戸ほどの床下EM散布、名取市閑上地区では全国的に有名なカーネーション農家に一トントンのEM活性液の無料配布基地・一トントンのEMほかし等の塩害対策支援を行いました。これらは、支持母体である地球環境共生ネットワーク本部(UNET本部)からの協力なしでは実現できなかったことです。

また、自然農食みやぎ代表の鈴木徹さんの仲間である、仙台市宮城野区蒲生地区のある専業農家のSさんは、震災で水田が大量のヘドロを被ったにもかかわらず、これをチャンスと捉え、すぐに五月末、稲作を実施。Sさんは驚く

ことに、ヘドロは有用な有機資材になることを理解しており、このことを本部に進言した結果、EM研究機構の「EM災害復興支援プロジェクト」の協力を得て、UNET本部から



▲ 収穫した野菜を味わう

の災害支援金により井戸を掘り、秋には見事に稲を実らせることが出来ました。専門家によると、塩害はもちろんだことヘドロをかぶった水田をすぐに蘇らせることは、常識的には無理という見解が多くを占めている中での出来事でした。

その後十月からは、放射能除染対策に取り組みはじめ、宮城県南の学校や福島市内の希望する自宅の庭等にEM活性液を強力に散布しながら、土壌表面の放射線量が減っていることを確認しています。この四月からは、EMボランティアの協力を得て、宮城、山形、千葉、福島の団体との協働による除染体制を整えて、除染作業を行っていくことにしています。

● 岩切第二農園スタート

二〇〇七年四月から仙台市若林区に市民農園「沖野丹野農園」を開園し、第

二農園を含め、現在三十七区画(一区画十坪)を展開していますが、昨年は震災の影響もあり、遅れて六月に宮城野区岩切地区に市民農園「岩切わくわく農園」十二区画を開園しました。そして、今年の五月には新たに十五区画の第二農園を増設することになっています。



▲ 代表の鈴木徹さん

「耕作放棄地を復活させることも我々NPOの使命でもあるので、非常にやりがいがあります。現代農法の常識では、耕作放棄地を復活させるのは至難であると言われていますが、自然農法の考え方は、長い間に農薬や化学肥料漬けが解消されていて、返って好都合だと、とらえています。

今後の計画としては、自然医学やEM技術の講演会も企画しており、農的生活を通じて健康になってもらうことや自然を復活させる活動も強力に進めて行きたいと考えています。

(注)EM:有用微生物群、Effective Microorganismsの略称。乳酸菌、酵母、光合成細菌を主体とする微生物の共生体。

NPO法人自然農食みやぎ

● TEL・FAX/022-297-1692
● URL <http://snsmiyagi.com/>

日頃の活動から 「食べられない人々」の支援を

○NPO法人仙台夜まわりグループ



▲理事長の今井誠二さん

二〇〇〇年一月の寒い夜、三人で夜まわりを行ったところから、NPO法人仙台夜まわりグループ(以下、夜まわりグループ)の活動は始まりました。「私たちの住む街で人知れず何の治療も施されず、路上死や孤独死をすることのないように」との願いが、小さな一歩を踏み出す後押しをし、その年の七月には仙台市の勾当台公園で、初めての炊出しを行いました。それから十一年、夜まわりグループは、月二回の夜まわりなどを通じての安否確認と入院などの緊急支援、五橋公園での炊出しや食事、日用品の提供、相談支援やセミナーの開催、居宅提供支援、リユース事業や清掃事業を通しての就労支援、毎週シャワーや洗濯、乾燥機、軽食などを提供する生活改善事業、行政との定期的な懇談などを行う対外協力など、様々な活動に取り組んでいます。

被災者に細やかな支援を

三月十一日の震災直後、まず居宅支

援をしている青葉区、太白区、若林区の施設で暮らす人たちのもとをまわり、翌日は路上などで暮らすホームレスの人たちを訪ね歩き、安否確認を行いました。幸いなことに水とプロパンが使えたので、十四日から、とにかく蓄えてある物資と燃料がある間は食料を提供しよう、と、文化町の事務所の前で約千食分のカレーと豚汁を作りました。食べられない人への支援という日頃の活動の本領発揮です。備蓄は二



▲避難所での炊き出し

三日で尽きる状況でしたが、ツイッターやブログで現状を伝え支援を呼びかけたところ、遠くは北海道や鹿児島など日本各地から、またシカゴなど海外からも物資が続々と届き始めました。おかげで事務所前での地元の人々のための炊出しは二週間続けることが出来ました。その後、流通が動きだし食料などの物資が入手できるようになったので、夜まわりグループの支援は、大きな被害を受けた若林区の荒浜、井戸浜地区の人々等への物資提供へと移行していきました。

避難所では、食事の偏りがあつたり、小さな避難所や自宅避難者には物資が行き届かなかつたりしました。小さなNPOの小回りの利く支援体制の利を生かし、飛び込みや口コミで訪ね歩き、足りない食品や必要な物資を行き届かない所や人たちへと、きめ細かな支援を行いました。また、仙台市以外でも民間や大きなNPOの支援があまり入らず、物資がまだ行き届いていない亘理町などの県南沿岸地域や、牡鹿半島の末端の地域の避難所や小さなコミュニティなどへの被災者支援に力を入れました。「必要なものを必要な人へ」という夜まわりグループの考えがこのような活動になったのです。心の繋がりが出来たこれらの地域には、現在も物資などの支援を行っています。

不安のない 社会をめざして

現在、夜まわりグループの活動は、ほぼ通常のホームレス支援活動に戻っています。仙台市のホームレスは、統計だけ見ると減っているように見えます。し



▲仮設住宅入居支援

かし、震災により家や仕事を失った中高年の労働者や、発達障害などを抱えた弱い立場の人が、住む所を失ってホームレスにならざるを得なかつたケースも出て来ています。理事長の今井誠二さんは、「三、五年後を考えると、仮設住宅が廃止されたり、復興事業の終了等で、ホームレスになつてしまふ要因がたくさん考えられます。今のうちから、そうしたグレイゾーンにいる人たちがホームレスにならないための新しい総合的なセーフティネットの準備が必要なのです。目に見える数は減つていても現状は変わっていない事を、そしてホームレスの問題と同様に被災者の問題が忘れ去られないように、訴えていく必要があります。」と話します。

「できる人が、できる時に、できる事を」をモットーに、誰もが生きやすい不安のない社会をめざし、夜まわりグループは活動を続けます。

NPO法人仙台夜まわりグループ

〒983-0044
仙台市宮城野区宮千代2-10-12
仙台希望の家
●TEL・FAX/022-783-3123
●E-mail yomawari@medialogo.com

▼代表の土佐昭一郎さん



にも残っていたALTTらの仲間と共に泥かきなどのボランティアを

海外向けの サイト立ち上げに協力

MEESAが被災地支援を始めたのは、一人のALTTからの相談がきっかけでした。多くの在日外国人が震災直後帰国した中、県立高校のALTTグレッグ・レイキさんは帰国せず、ほかにも残っていたALTTらの仲間と共に泥かきなどのボランティアを

海外からの支援をつなぐ NPO法人宮城英語教育支援協会

MEESAが被災地支援を始めたのは、一人のALTTからの相談がきっかけでした。多くの在日外国人が震災直後帰国した中、県立高校のALTTグレッグ・レイキさんは帰国せず、ほかにも残っていたALTTらの仲間と共に泥かきなどのボランティアを



▲被災地の小学校に物資を届ける

MEESAが被災地支援を始めたのは、一人のALTTからの相談がきっかけでした。多くの在日外国人が震災直後帰国した中、県立高校のALTTグレッグ・レイキさんは帰国せず、ほかにも残っていたALTTらの仲間と共に泥かきなどのボランティアを

必要な物資を 必要な子供たちに

当初は、インターネットの情報をもとに、被災地に文房具などを届けていたが、届けた先で十分物資があるという状況が続きました。そこで知人の被災地の小学校の校長先生などから、欲しい物資を直接聞き、それを購入して届けることにしました。まず南三陸町の被災した小学校へ運動会に使うための紅白帽子を届け、おおいに喜ばれました。その後、中学校には補助教材に使うドリル、ノートなど、また受験勉強で復習をするのに、前学年の教科書が津波のために無くて困っていると聞き、前年の教科書を届けたりもしました。その学校その学校で状況が違い、必要なものが違うため、必要なところに必要なものを届けることに努めています。

MEESAでは、支援金で購入したものは何がどこに届けたか、お礼状などを、HPやニュースレター、メールマガジンなどで報告する、情報発信を随時行っています。最近、東日本大震災への関心が薄れ、寄付金が集まらなくなっているといわれますが、Teachers For Japanへの寄付は変わっていません。その理由のひとつは、こまめな情報発信にあります。「支援がきちんと見えることで信頼につながり、寄付につながっています」と土佐昭一郎代表。寄付金からの購入だけでなく、海外から届けられた英語教材なども合わせて被災地に届けています。

英語を通して 子どもたちを支援



▲12月に行ったクリスマスイベント

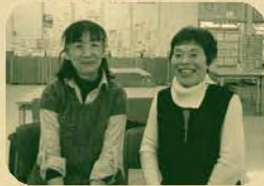
「子どもたちの教育に関わる人たちは、子どもたちの未来を見据えて、長いスパンで支援を考えています。私たちも被災地の子どもたちのために、長期で支援を続けたいと考えています」と、土佐さん。MEESAでは、物資の提供だけでなく、十二月には被災地の小学校六年生を仙台に招待した企業に協力する形で、英語遊びを行い、大変好評を得ました。今後は仮設住宅の集会所などを使得、親子の英語遊びなどを積極的に行い、英語を通して子供たちの心の支援をしたいと、考えています。

**NPO法人
宮城英語教育支援協会(通称MEESA)**
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡2-2-8-203
●TEL・FAX/022-256-7977(ミヤギユースセンター内)
●URL
<http://web.me.com/chomo.yoko/MEESA/Welcome.html>
【Teachers For Japan】
<http://teachersforjapan.org/Japanese.php>

シニア世代のNPO活動への一歩を支援 ～50歳からのNPO実践塾～



▼左から、中島妙子さんと大條文子さん



今回の第十期は一月二十一日に開講しました。十名の募集に対して十八人の応募があり、シニア世代のNPOへの関心の高さが伺われます。これまで六

経験を活かしたNPO案を発表

この塾は二〇〇九年一月から始まり、今回で十回目を迎えます。各回約十人の参加者が三か月間、五、六回の連続講座を受講し、各自に合った社会貢献を見つけ、実践へとつなげていきます。これまで一〇八人が卒業し、子どもからお年寄りまで過ごせるケアハウスを立ち上げた方や宅老所に立ち上げた方など、確実に活動に踏み出した方が多数います。

これまでに一〇八人が学び卒業

三月二十四日(土)二十五歳からのNPO実践塾(以下、実践塾)第十期の修了式が行われ、塾生がNPO活動のプランを発表して実現の可能性を探り、次への一歩を踏み出しました。

今回の参加者大條文子さん、中島妙子さんは、現在巨鹿町の仮設住宅に暮らしています。以前から興味があった社会貢献でしたが、仮設住宅に支援に来ていたNPO法人の活動を見て、「自分たちも」と実践塾に参加しました。受講してふたりは「第三回の講座の実践者のお話は、まさに自分たちがやりたかったことで、その後そのNPO法人の見学に行ったりもしました。これまで漠然と自分たちがやりたいと思っていたことが、ここで学んだことでしっかりと形になりました」と話しています。今後は高齢者の支援を始め、がん難治性の宣告をされた方の支援を考えています。そのほかにも、これまでのキャリアやスキルを生かし「若年性認知症の本人と家族」のミニデイサービスを計画している川村勉さんなど、参加者は、それぞれに合ったNPOのプランを発表しました。発表に対しては塾長や経営コンサルタントの講師からのアドバイスなどがあ

回の講座で、キャリアの棚卸や、実践者からの話、NPOの基礎知識や設立のポイントなどを学んだ後、自身の立ち上げたいNPOについて、参加者で相互検討などしながら計画をたて、最終会での発表となりました。



▲プラン発表の様子

好評を受けて募集人数を十八名に増やしました。みなさんも実践塾に参加して、自分にあつた社会貢献を始めませんか? 詳しくは下記のみやぎNPO情報ネットをご覧ください。

実践塾では、講座終了後も希望により、NPOでの一日体験やマッチングなどに応じるほか、年々一回の卒業生の交流会などおこない、卒業後のフォローに努めています。

第十一期の募集開始



▲塾長から修了証を渡す

● NPO法人の設立を新しく申請した団体		2012年2月11日～3月10日申請分	
団体名	所在地	活動内容	受理日
千年の木	仙台市宮城野区	専門職員を通じた子育て支援事業等	2/13
日本水圏緑化計画	仙台市泉区	海中、湖沼及び河川の緑化事業等	2/17
先進福祉推進協会	仙台市青葉区	高齢者や障害者等に対する生活支援事業	2/29
ピースジャム	気仙沼市	東北沿岸部地域を中心とした子育て支援事業等	3/1
宮城国際支援の会	仙台市若林区	青少年育成、福祉、職業訓練などを通しての国際支援事業等	3/1
A1ふくしネットワーク	仙台市泉区	高齢者及び要援護者に対する介護予防・生活支援事業等	3/2
自然治癒力増進協会	黒川郡富谷町	自然治癒力の増進による地域社会づくり事業等	3/5
ほっとたいむ	仙台市若林区	障害者自立支援法に基づく指定障害福祉サービス事業	3/5
鷹上げ	気仙沼市	自然災害で被災した人々に対する災害支援活動等	3/7
動く場づくりコナモレーw	牡鹿郡女川町	人との繋がりを感じられる活動の場づくりに関する事業等	3/8

● NPO法人に認証された団体		2012年2月11日～3月10日申請分	
団体名	所在地	活動内容	認証日
I've Not Just Mud(INJM)	石巻市	被災家屋の修復等の震災復興支援事業	2/16
なでして	岩沼市	介護保険法に基づく各事業等	2/21
にじいろクレヨン	石巻市	東日本大震災で被災した子どもたちに対する心のケアに関する事業等	2/29
復興わたり-あらはま	巨鹿郡巨鹿町	東日本大震災により被害を受けた地域の復興及び地域復興のための各種事業	3/2
アクティブリック宮城	仙台市青葉区	若者たちの社会参加促進による地域活性化事業等	3/8
日本ペット環境教育センター	仙台市若林区	市民とペットの良好な環境を保つための環境学習開催事業等	3/8

宮城県の
NPO法人数

625
団体

2012年3月10日
現在数

※解散、所轄庁変更、
認証取消、撤回した
団体を除く。

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>

みやぎNPOプラザ

〒983-0851
仙台市宮城野区榎ヶ岡5

TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533

E-mail:npo@miyagi-npo.gr.jp

三菱商事復興支援財団 復興支援助成金

- 助成対象：東日本大震災における被災地の復旧・復興を支援する活動
- 対象団体：(1)東日本大震災の復旧・復興に従事する、社会福祉法人、公益社団法人または公益財団法人
(2)東日本大震災の復旧・復興に従事する、現在活動中のNGO、NPO
(3)上の(1)(2)に準じると当財団が認める非営利団体
- 助成金額：一件につき上限250万円(総額約5億円)
- 助成期間：2012年4月1日～2013年3月31日
- 募集締切：4月27日(金) 17:00
- 連絡先：三菱商事復興支援財団
TEL:0120-266285(助成金お問合せ専用フリーダイヤル)
(受付期間：3月5日から4月27日まで土日祝日を除く09:00～18:00)

平成24年度 子育て家庭支援団体に対する助成

- 助成対象：次の要件をすべて満たす活動
(1)就学前の子どもの保護者等(妊婦等を含む)に対し支援を行う活動
(2)利用者を限定せず、地域の保護者等の参加が可能な活動
(3)日本国内で行う活動
※従来から継続している活動でも、新たに開始する活動でも構いません
- 対象団体：日本国内において、就学前の子どもの保護者等(妊婦等を含む)への支援活動を行っており、助成申請時点で1年以上の活動実績を有し、少なくとも月1回以上の定例活動日を定め継続して運営している民間非営利団体、NPO法人
- 助成金額：1団体あたり上限額25万円(総額最大1,400万円)
- 助成期間：平成24年10月～平成25年9月
- 募集締切：4月27日(金) 消印有効
- 連絡先：社団法人 生命保険協会「子育て家庭支援活動」事務局
(本部広報部内)
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル3階
TEL:03-3286-2643 FAX:03-3286-2730

平成24年度 麒麟・子ども「力(ちから)」応援事業 麒麟・シルバー「力(ちから)」応援事業

- 【麒麟・子ども「力(ちから)」応援事業】
- 助成対象：子どもたち自らの力を引き出すことを目的に、子どもの発想から生まれ、子どもが主体となって実施する活動
- 対象団体：18歳以下のメンバーが中心となって活動する4人以上のサークル、グループ
- 助成金額：1団体あたりの上限額15万円
- 【麒麟・シルバー「力(ちから)」応援事業】
- 助成対象：高齢者が地域のために、その知識・技術・経験を活用するグループによるボランティア活動
- 対象団体：65歳以上のメンバーが中心となって活動する4人以上のグループ(メンバーの半数以上が65歳以上であり、なお

かつ活動の中心となっている4人以上のメンバーが65歳以上であること)

- 助成金額：1団体あたりの上限額30万円
- 【共通事項】
- 助成金総額：上記2つの公募を合算して総額1,200万円
- 助成期間：平成24年7月～平成25年3月に行われる活動
- 募集締切：4月30日(月) 消印有効
- 連絡先：公益財団法人 麒麟福祉財団
(千葉、栃内(とちない)まで)
〒104-8288 東京都中央区新川2-10-1 麒麟本社ビル
TEL:03-5540-3522 FAX:03-5540-3525
E-mail:fukushizaidan@kirin.co.jp

国際交流事業等助成金(平成24年度第2期)

- 助成対象：営利等を目的としない次に掲げる事業
1)県内で開催する次に掲げる国際交流事業
2)外国において、本県の優れた文化等を紹介し、外国人と交流を図る事業
3)開発途上国等の地域住民に対して行う各種の協力・支援事業
4)その他、地域の国際交流・協力の推進に寄与すると認められる事業
- 対象団体：団体の運営に必要な事項について定めがあり、原則1年以上の活動実績がある団体
- 助成金額：1件あたり上限25万円
※助成対象経費額により異なります
- 助成期間：6月1日～7月31日に開始する事業
- 募集締切：5月10日(木)
- 連絡先：公益財団法人宮城県国際化協会 企画事業課
〒981-0914 仙台市青葉区堤通南宮町4-17
宮城県仙台合同庁舎7階
TEL:022-275-3796 FAX:022-272-5063
E-mail:mail@mia-miyagi.jp

2012年度 富士フィルム・グリーンファンド助成

- 助成対象：日本国内で行われる、営利を目的としない以下の活動・研究
・自然環境保全もしくは自然とのふれあい活動
・身近な自然環境保全のための調査研究もしくは自然とのふれあいを促進するための調査研究
- 対象団体：上記活動及び研究の実績があり、発展的な活動や研究を行う団体・個人
※要件の詳細は要項をご確認ください
- 助成金額：申請内容や助成金の使途を踏まえて査定し、助成金を決定(上限なし)
(件数は4件程度、助成総額は全体で850万円)
- 助成期間：助成金贈呈日(2012年8月)より1年
※内容によっては2年に渡って利用することも可能
- 募集締切：5月21日(月) 消印有効
- 連絡先：公益信託 富士フィルム・グリーンファンド事務局
〒110-8676 東京都台東区下谷3-10-10
財団法人 自然環境研究センター内
TEL:03-5824-0960 FAX:03-5824-0961

- 主 催:(特活)まきばフリースクール
- 連 絡 先:(担当:櫻井)
TEL:0228-25-4481 FAX:0228-25-4482
E-mail:makibafree@mail.goo.ne.jp
URL:http://www3.ocn.ne.jp/~mkb-free

- 対 象:どなたでも
- 参 加 費:無料
- 申込方法:下記連絡先まで申込
- 主 催:仙台エスペラント会
- 連 絡 先:(担当:大越)TEL/FAX:022-376-5641

4/24 火 NPOのための会計・税務相談

日々の会計業務から決算書作成や税金のことなど、NPO会計に詳しい税理士が、ご相談をお受けします。

- 日 時:4月24日(火) 13:00~17:00
- 場 所:みやぎNPOプラザ
- 定 員:3団体(先着順)
※要予約。相談時間は1団体約1時間
- 主 催:宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連 絡 先:みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

3/25 日 4/29 日 東日本大震災で大切な方を亡くされた方のためのささえあいの会

想いを話すことを中心に、語りあい、わかちあい、ささえあう場所です。

- 日 時:3月25日(日)、4月29日(日)
各回13:00~15:00
- 場 所:仙台市福祉プラザ10階
- 申込方法:不要
- 主 催:社会福祉法人 仙台いのちの電話
- 連 絡 先:〒981-8691 郵便事業(株)仙台北支店私書箱26号
TEL:022-718-4401 FAX:022-718-4431
URL:http://www6.ocn.ne.jp/~sen/

4/26 木 ホントの国際語って ようこそ、エスペラントへ

国や民族の違いに関わらず、人と人が対等の立場で交流することのできる国際共通語エスペラントをご存知ですか? エスペラントを使って行っている様々な国際交流の様子をご紹介します。

- 日 時:4月26日(木) 18:30~20:30
- 場 所:仙台市民活動サポートセンター(仙台市青葉区1-4-1-3)
- 講 師:仙台エスペラント会会員
- 内 容:★エスペラント語って?
★どう使う? どう学ぶ?
★話してみよう、聞いてみよう。いろいろな本や雑誌
★質問コーナー など

5/25 金 NPOのための会計・税務講座(1) NPO会計のイロハ

NPO会計の特徴と基礎を学んで、信頼ある組織運営を! NPO会計の基礎から、一般企業とは異なる特長、帳簿の付け方、具体的な日々の会計処理の方法までを分かりやすく学びます。

- 日 時:5月25日(金)13:30~16:30
- 場 所:みやぎNPOプラザ 第2会議室
- 講 師:平野由紀子氏(税理士)
- 対 象:NPOの会計担当者や理事、監事、これから会計を担当される方、再確認したい方など
- 定 員:20名
- 参 加 費:1,000円
- 主 催:宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画:実施:(特活)杜の伝言板ゆるる
- 連 絡 先:みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

6/9 土 6/23 土 6/30 土 ~あなたの心に寄りそう~ 仙台傾聴の会 傾聴ボランティア養成講座

人は誰かに話を聴いてもらうことで、心が軽くなり、浄化され、悩みの半分は軽減されるといわれています。日常の中に生かせる「傾聴」、あなたも身につけてみませんか。

- 日 時:(1)6月9日(土)「傾聴の基本」「共感と受容」
(2)6月23日(土)「傾聴スキル」「ロールプレイ」
(3)6月30日(土)「認知症について」「エゴグラム」
全日程10:00~15:00
※3日間参加の方に修了証を授与します
- 場 所:福祉プラザ11階 第1研修室
- 講 師:吉川ちひろ氏(臨床心理士)
- 定 員:30名(定員になり次第締切)
- 参 加 費:5,000円
- 申込方法:下記連絡先まで、事前電話申込。
その後、銀行口座への受講料の振込み確認後、受付完了とさせていただきます。
※口座番号は、お電話いただいた方へお知らせいたします。
- 主 催:仙台傾聴の会
- 連 絡 先:仙台傾聴の会(森山)TEL:090-6253-5640

情報をお待ちしています

- 申込方法:問合せ先を明記の上(初めてご利用いただく団体は団体概要も添付)、FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。 **掲載は無料です!**
- 締切:毎月15日(翌月10日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 誌面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327
e-mail:npo@yururu.com

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト 「みやぎNPO情報ネット」

<http://www.miyagi-npo.gr.jp>



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。
問い合わせは、info@miyagi-npo.gr.jp まで

- ずどなたでも
- 参加費:300円
※動き易い服装(ズボン、ローヒールの靴)でご参加ください
 - 主催:(特活)宮城県健康管理士会
 - 連絡先:(代表:太田)
TEL:022-281-2388 FAX:022-281-0827

4/16 テーマ別介護講座 「高齢者のうつ病～予防と対応～」

テーマ別に単発で開催し、知識と技術を深める講座です。

- 日時:4月16日(月) 13:30～15:30
- 場所:仙台市シルバーセンター6F
第2研修室(仙台市青葉区花京院1-3-2)
- 定員:60名
- 参加費:無料
- 対象:仙台市内にお住まいかお勤めの方
- 申込方法:講座名、氏名、電話番号、を明記の上、電話またはFAXにて申込
- 主催:財団法人仙台市健康福祉事業団
- 連絡先:財団法人仙台市健康福祉事業団 介護研修室
(仙台市シルバーセンター内)
〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-3-2
TEL:022-215-3711 FAX:022-215-3718

4/17(火) 4/25(水) 4/26(木) シニアネット仙台 歩く会

健康は歩くことから!

- コース:★新寺小路・緑道コース/政岡(三沢初子)の墓、新寺小路緑道、塩竈神社ほかを巡ります
日時:4月17日(火) 仙台サンプラザ前 10:30集合
★按配堀・お花見コース/石橋鮎屋(枝垂れ桜)、七郷堀、愛染明王、按配堀ほかを巡ります
日時:(1)4月25日(水) (2)4月26日(木)
両日とも地下鉄河原町駅前10:30集合
- 参加費:各回300円
- 申込方法:名前、住所、電話番号を下記連絡先までお伝えください
- 申込締切:新寺小路・緑道コース:4月11日(水)
按配堀・お花見コース:4月19日(木)
- 主催:(特活)シニアのための市民ネットワーク仙台
- 連絡先:サロンわいわい一番町
TEL:022-217-0101
URL:<http://www.sendai-senior.org/rev1/>

4/18(水) 4/23(月) 4/25(水) 4/30(月) さをり織り展

さをり織りは、決まりごとのない自由な織りです。障害を持った方だからできる面白い色彩、織りの中に見られる不思議な模様を、ぜひご覧ください。

- 日時:第1期(さをり・Chic)
4月18日(水)～4月23日(月) 11:00～18:00
第2期(いる・いる・もよう)
4月25日(水)～4月30日(月) 11:00～18:00
※23日、30日は15:30まで
- 場所:ギャラリーCROSS ROAD(仙台市青葉区一番町1-4-26)

- 主催:(特活)黒川こころの応援団
- 連絡先:〒981-3621 黒川郡大和町吉岡字館下47
TEL:022-347-0028 携帯:070-5546-8669(遠藤)
URL:<http://m-kissa.com/>

4/22(日) 春の別姓 あれこれ語る会

お気軽に遊びにいらしてください。心よりお待ちしております。

- 日時:4月22日(日) 14:00～16:00
- 場所:エル・パーク仙台5階 創作アトリエ
- 参加費:無料
- 申込方法:不要
- 主催:別姓を考える会
- 連絡先:(担当:樋口)
E-mail:nohiguchi@kaigamori.com
URL:<http://www.kaigamori.com/bessei/>

4/22(日) 女性のためのこころのケア講座1 「DV・トラウマを理解する」 ～傷ついたこころのケアをはじめよう!

DVなど、傷ついた経験をもつ女性のための講座です。自分らしく生きていくために、回復に向けてできることは「わたしがわたしを大切にすること」。講座後は、持ち帰りのできるしおりやカードをつくります。

- 日時:4月22日(日) 13:30～15:30
- 場所:エル・ソーラ仙台 サポートルーム(アエル29階)
- 講師:(特活)ハーティ仙台スタッフ
- 対象:仙台市内に在住・通勤・通学している、高校生以上の当事者の女性
- 定員:20名(申込先着順)
- 参加費:500円(アート材料費、お茶代)
- 託児:6ヶ月以上小学1年まで 先着順
しょうがいのあるお子さんや上のお子さんについてもご相談ください
託児料:子ども1人300円/1回
申込締切:4月12日(木)
- 申込方法:4月6日(金)9:00より電話で受付開始
- 主催:公益財団法人せんだい男女共同参画財団
- 企画協力:(特活)ハーティ仙台
- 連絡先:エル・ソーラ仙台相談支援係
TEL:022-268-8302
URL:<http://www.sendai-l.jp>

4/22(日) (特活)まきばフリースクール 活動展示説明会

まきばフリースクールでは、発達障害、引きこもりや不登校などの様々な生きづらさを抱えた方や、そのご家族への支援を行っています。※個別相談にも対応可能です。ご希望の方は会場内のスタッフにお声掛けください

- 日時:4月22日(日) 13:30～15:30
- 場所:大崎市市民活動サポートセンター4階
小会議室(大崎市古川駅前大通り1-5-18
ふるさとプラザ内)
※時間内は会場の出入り自由

4/8 5/13 6/3 7/1
日 日 日 日

シニア元気笑学校 第13期生募集

全国でも珍しい、講座と“サロン絆”を組み合わせた、シニアが学べて・得して・楽しめる“遊びの場”がスタートします。

- 日 程: 1)4月8日(日)「大震災に対するわが家の備え」
2)5月13日(日)「心が折れそうになった時のヒント」
3)6月3日(日)「足腰が痛みだす前と後の処方」
4)7月1日(日)「遺言メモから遺言書の作り方」
パーティー(希望者のみ参加、500円)
- 場 所: 仙台市シルバーセンター7階 第1研修室
(仙台市青葉区花京院1-3-2)
- 内 容: それぞれ2部形式
【第1部】ミニ講座、先着90名、授業料500円
【第2部】サロン(出入り自由)、入場数120名
程度、入場無料
- 申込方法: 参加希望日、氏名、年齢、住所、電話番号を明記の上、下記連絡先までできるだけFAXで申込
※1日でも複数日でも参加可
- 主 催: シニア元気笑学校
- 連絡先: (担当: 渡辺)
〒982-0022 仙台市太白区鹿野本町18-35
TEL: 022-248-3765

4/11
水

第21回ママとシネマ! 「僕達急行A列車で行こう」

BABYと一緒に映画館で気兼ねなく映画を観よう! 泣いても騒いでもお互い様! 照明を通常より明るめにし、音量も小さめ!! BABYの飲食物に限り、持込OKです。

- 日 時: 4月11日(水) 10:30~12:30(開場9:30)
- 場 所: ザ・モール長町partII MOVIX仙台
- 定 員: 大人120名+お子様
- 参加費: 大人1,100円、子ども800円
- 申込方法: 下記連絡先のURLより、申し込みフォームにて申込
- 申込締切: 定員になり次第(受付: 3月15日(木)9:00~)
※キャンセル待ち対応あり
- 主 催: ママとシネマ実行委員会
- 連絡先: E-mail: mamacinema@livedoor.com
URL: <http://blog.livedoor.jp/mamacinema>

4/12
木

NPOのための雇用なんでも相談

NPOの雇用手続き全般から、就業規則の作成や見直し、職場関係の問題など、雇用に関することのご相談に応じます。

- 日 時: 4月12日(木) 13:00~17:00
- 場 所: みやぎNPOプラザ
- 定 員: 3団体(先着順)
※要予約。相談時間は1団体約1時間
- 主 催: 宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連絡先: みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

4/12
木

スマイルレッスン in Sendai

素敵な笑顔を見つけてみませんか。笑顔がぎこちなかつ

たり笑顔がつかれないという方、マイベストスマイルを見つけてみませんか。

- 日 時: 4月12日(木) 10:00~11:30
※準備のため5分前着席
- 場 所: みやぎNPOプラザ 研修室(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 内 容: ★マイベストスマイルをみつけましょう
★自信が持てる立姿と歩き方のテクニック
★写真写りUPのポイント
★美しい座り方 ほか
- 講 師: 東順子氏
(特活)日本セラピー普及会、施術室優しい手代表)
- 定 員: 15名
- 参加費: 2,000円
- 申込方法: 下記連絡先までFAX、またはE-mailにて申込
- 主 催: NPO布ナブ普及協会
- 連絡先: 〒981-3106 仙台市泉区歩坂町67-25-103
TEL: 022-346-0576 FAX: 022-346-0564
E-mail: napu2@napu2.com
URL: <http://napu2.com>

4/13
金

4/19
木

(特活)アamani・ヤ・アフリカ 桜祭りショップ

桜と共に、ケニアからアフリカグッズが多数入荷しました。ぜひお立ち寄りください。

- 日 時: 4月13日(金)~19日(木) 10:00~16:00
- 場 所: みやぎNPOプラザ 短期ショップスペース
- 内 容: ★ケニアと被災地を結ぶ絆"しままホープ君"
とアフリカのフェアトレード商品の販売
★たのしいアフリカグッズの展示・販売
- 主 催: (特活)アamani・ヤ・アフリカ
- 連絡先: 〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地
みやぎNPOプラザ レターケースNo.16
TEL: 080-1835-9495(佐藤)
090-2271-1403(吉村)
URL: <http://amani-ya.com/>

第2・第4
土曜日

フラワーボランティア養成講座(初級)

「花でコミュニケーション」を理念に、フラワーセラピーを学び、花の専門ボランティア・フラワーセラピストを目指します。

- 日 時: 第2・4土曜日
(6ヶ月間で12回、初講は4月14日(土))
- 場 所: みやぎNPOプラザ(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 受講費: 21,000円(12単位) ※花材費は別途要
- 申込方法: 下記連絡先までお問い合わせください
- 主 催: フLOWERセラピー研究会 仙台
- 連絡先: TEL: 090-5847-6179(担当: 松原)

4/15
日

気功で心身リフレッシュⅡ 気功で免疫力や自然治癒力を養おう!!

- 日 時: 4月15日(日)13:30~14:50
- 場 所: みやぎNPOプラザ 第2会議室(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 講 師: 細越千恵子氏(健康管理士)
- 対 象: 健康づくりに関心のある方。老若男女問わ



会員募集



一般社団法人カラーガードみやぎ アソシエーション 会員募集

カラーガードとは、マーチングで、色彩感や立体的な空間構成での芸術性を高めるためのパートで活躍しています。当団体では、このスポーツアートの演技でのイベント、地域振興や大会等に参加し、社会貢献を目指しています。

- 活動内容:★カラーガードメンバー/カラーガード演技等を主に活動。初心者・経験者不問
★コーチスタッフ/演技の指導や団体の運営
★ボランティアスタッフ/プログラムへの参加をはじめ、運営や広報活動資金援助など様々な活動支援
- 会費:○正会員(個人のみ)/入会金1,000円
月会費2,000円(年24,000円)
○準会員/入会金1,000円 年会費2,000円
○賛助会員(法人・個人)
・年会費 1口10,000円(1口以上)
※ボランティア、震災復興プログラム参加者は、入会費・年会費なし
- 申込方法:氏名、所属、生年月日、性別、住所、電話番号、FAX、メールアドレスを明記の上、電話、FAX、メールにて申込
申込後、担当から折り返し連絡します
- 募集主体:一般社団法人 カラーガードみやぎアソシエーション
- 連絡先:TEL/FAX:022-299-5030
E-mail:cogma2012@yahoo.co.jp
URL:http://cogma2012.web.fc2.com/

(特活)パソコン要約筆記文字の都仙台 メンバー募集

私たちは、仙台市を拠点に、話し言葉を瞬時に入力しスクリーン等に表示する「パソコン要約筆記」の活動を行っている団体です。聴覚障害者をはじめ、文字情報があることで社会参加が活発にできるようになる方は大勢いらっしゃいます。そのような方々の手助けができるような団体でありたいと思っています。

- 主な活動内容:
★団体・個人から依頼を受けてのパソコン要約筆記
★要約筆記奉仕員養成講座等への講師派遣
★音声起こし等のデータ加工事業 など
- 年会費:○正会員 一般3,000円/学生2,000円
○購読会員 2,000円
○賛助会員 個人一口1,000円/法人一口5,000円
- 定例会(練習会):
正会員のみ参加可能。月次活動報告、入力の練習、簡単な手話の学習など
みやぎNPOプラザにおいて、第4土曜日の17:00~19:00に開催
※ノートパソコン、LANケーブルをお持ちください(貸出可、要事前連絡)
- 募集主体:(特活)パソコン要約筆記文字の都仙台
- 連絡先:〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
みやぎNPOプラザ レターケースNo.8
TEL/FAX:022-290-7159
E-mail:mojimi@plusvoice.net
URL:http://mojimi.kuronowish.com/



イベント



毎週
水曜日

NPOのための法人設立・団体運営相談

NPO法人の設立に関わることやNPOの運営について、お気軽にご相談ください。

- 日時:毎週水曜日 13:00~17:00
- 場所:みやぎNPOプラザ
- 定員:3団体(先着順)
※要予約。相談時間は1団体約1時間。
- 主催:宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 連絡先:みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

ユニバーサルファッション工房繕 作品展示・販売

障がいのある方や高齢の方などにも着心地の良い衣服づくりを行う団体です。現在、みやぎNPOプラザにおいて、作品の展示・販売などを通し団体活動の紹介をしています。

- 日時:4月12日(木)まで
- 場所:みやぎNPOプラザ 短期ショップスペース
- 内容:★着物リメイク品・着心地の良い服の展示・販売
★「なんでも地蔵」の取り扱い
- 主催:ユニバーサルファッション工房繕
- 連絡先:〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
みやぎNPOプラザ レターケースNo.11
TEL:090-9037-5556(佐藤)
URL:http://www.koubou-zen.com/

4/7
土

4/24
火

第7回 かたくり祭

北国の里山に群れ咲く希少なカタクリやイワウチワ等、可憐な早春植物の美しさを通して自然と親しみませんか?

- 日時:4月7日(土)~カタクリの花があるまで(目安として4/24(火)まで数週間程度)
開園時間 9:00~16:00
- 場所:大國神社山野草公園
(仙台市青葉区芋沢字末坂27-14)
- 内容:★早春植物の観察
(見学者の希望に応じ、当会会員が園内を案内します)
★第5回俳句コンテスト
★(社福)仙台自立の家の手作りクッキーや水耕栽培野菜、授産品などの販売(週末)
- 参加費:無料(募金箱を設置しています)
- 主催:大國神社の山野草を守る会
- 連絡先:〒989-3212
仙台市青葉区芋沢字末坂27-14
大國神社参集殿内
TEL:022-394-2724、090-3648-5371
FAX:022-394-2725
URL:http://sanyasou.info/top.html

について学びます。皆さんがグローバルな視点でリーダーシップスキルを習得することを目的としています。

- 日 程: 7月23日(月)～8月12日(日)
- 場 所: アメリカ カリフォルニア州
- 内 容: ★リーダーシップスキル
★ボランティア活動
★シリコンバレーの企業で働く人々から話を聞く
★英会話レッスン
★週末ホームステイ
★課外活動
- 対 象: ・プログラム参加時に高校生であること
・東日本大震災発生当時に岩手県・宮城県・福島県に居住
または在学していたことを証明できること(在学証明書、住民票または学生証のコピーのいずれか1つを後日提出)
・異文化環境に適用できる柔軟性と協調性があり、プログラムに積極的に取り組む意思があること
- 定 員: 最大300名
- 参 加 費: 無料(全額スカラシップ(奨学金))
- 申込方法: 申込フォーム
(<http://usjapantomodachi.ayusajapan.org/index.html>)から申込
※選考結果は選抜された方へのみ連絡
- 申込締切: 4月16日(月) 郵送の場合は消印有効
- 主 催: 米国非営利教育法人
アユサイインターナショナル 日本事務局
- 連絡先: 〒105-0022 東京都港区海岸1-9-11
マリンクスタワー7階
TEL: 0120-955-414
URL: <http://www.ayusajapan.org/>

- ★画像提供者52名の震災体験談
- ★2011年3月11日以降の主なできごと
- ★宮城を襲った地震津波の歴史
- ★宮城県内津波浸水エリアマップ

- 予定価格: 2,100円(税込)
※代引き発送の場合: 2,750円
- 購入方法: 仙台市内主要書店、アマゾンまたは下記連絡先まで問合せ
- 企画・制作・発行: (特活)20世紀アーカイブ仙台
- 連絡先: 仙台市宮城野区田子1-11-2 CLIPビル2階
TEL: 022-387-0656 FAX: 022-387-0651
URL: <http://www.d2.dion.ne.jp/~clip/20thcas.html/>

おひさまBaby&プレママサロン ～なりたてママと妊婦のサロン～

ママになりたてで不安をお持ちの方、このサロンに気軽に遊びに来てください。スタッフや他のママたちから、子育て情報やお悩み解決のヒントをもらえたり、気の合うお友だちに出会えるかもしれません。

- 日 時: 毎月第1水曜日 10:00～11:30
- 場 所: おひさまキッズ託児室
(仙台市宮城野区幸町5-12-7 三井会館)
- 対 象: 0歳児(第一子のみ)の親子、初めての妊婦さん
- 参 加 費: 100円
- 申込方法: 下記連絡先まで申込
- 主 催: (特活)おひさまキッズ
- 連絡先: TEL: 022-291-1916, 080-1800-0225(チーフ佐藤)

人間関係が楽になるバウンダリー勉強会 ～健全な境界線の築き方～

他者との関係できちんと線を引くことでかえって楽な人間関係を築くバウンダリー。前半はテキストに沿って講師が説明し、後半は参加者が自由に意見を話すフリータイム形式で行います。

- 日 時: 毎週火曜日
【午後コース】14:30～16:00 【夜コース】19:00～20:30
- 場 所: 仙台市中心部の公共施設
- 参 加 費: 1,000円/1回 ※テキスト代: 650円
- 申込方法: 下記連絡先まで問合せ
- 主 催: はあとランド
- 連絡先: (担当: 佐藤)
〒981-3622 黒川郡大和町もみじヶ丘2-38-9
TEL: 080-5225-7532
E-mail: nijipapa21@ezweb.ne.jp(携帯からのみ)

事業案内

3.11キヲクのキロク ～市民が撮った 3.11大震災 記憶の記録～

市民が「映し残さなければ」という思いで撮影された画像は、報道写真とは異なる目線で撮られた「ありのまま」の姿を伝えます。書籍化することでより多くの方々にご覧いただき、100年後も1000年後も「記憶遺産」として、3.11を後世に語り伝えていきます。

- 内 容: A4変形横綴じ 約330ページ
★宮城県内(仙台市5区、13市町)震災画像

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2012.3.16現在) 敬称略

- 正会員40名
★仙台市 ●(特活)東北・SOS子どもの村情報センター
- 賛助会員28名
★富谷町 ●(特活)野のゆりホーム
- 情報会員71名
★仙台市 ●木村さち子
★名取市 ●渡辺聖子

会員募集

会員種類	年会費
個人正会員	10,000円
NPO正会員	10,000円
法人正会員	20,000円
個人・NPO賛助会員	5,000円
法人賛助会員	30,000円
情報会員	3,000円

郵便 口座番号 02250-0-43800
振替口座 加入者名 特定非営利活動法人 社の伝言板ゆるる

(会員申込みの方は、通信欄に 会員の種別をご記入下さい)

社の伝言板ゆるるは、地域の課題を解決するために活動するNPOの継続的運営やそれに参加するボランティアの育成を支援している団体です。特に1997年に創刊した月刊ゆるるは、市民活動やボランティアをしたい市民、それを応援したい企業、行政、そしてNPOをつなぐ情報誌として広く活用されています。これからもNPOや参加する市民にとって役立つ情報を発信し、地域の生活環境が向上するように活動していきますので、ぜひ、私たちの会員となって応援してください!!

■会員には毎月「月刊ゆるる」が届きます

※正会員以外は、総会での議決権がありません

information

3月15日までにゆるる編集部に届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア募集

被災地での学習支援ボランティア募集

被災した子どもたちが集中して勉強をする環境を整えることは、震災から1年を経た現在でも非常に難しい状況です。仙台POSSEでは、勉強を教えるだけでなく、進学できる経済基盤をつくるために奨学金や就学援助制度などの活用も視野に入れて支援します。

- 活動内容:主に中学生への学習支援(場合によっては小学生や高校生のサポートをすることもあり)
※就学支援ミーティングを隔週で開催し、具体的な支援内容の共有や検討、学習会を開催。研修という意味合いも大きいので、月に最低1回の参加を義務としています
- 活動日時:授業の実施頻度は週1~2回。1回の授業は2時間ほど
- 活動場所:仙台市内(主に宮城野区、若林区)の仮設住宅
- 対象:月に1回以上、一定期間継続して参加出来る学生の方
※ボランティア・塾講師等の経験は問いません
- 募集主体:仙台POSSE(担当:熊谷)
〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-1-3
仙台市市民活動サポートセンター気付
TEL:022-266-7630
E-mail:sendai@npoposse.jp
URL:http://www.npoposse.jp/

有給スタッフ

家事援助・通院介助などの有償ボランティア募集

“ゆうあんどあい”は、会員同士が相互に援助活動を行う法人です。あなた(YOU)とわたし(I)で助け合いの輪を作り、地域に根ざした活動を広げ、安心して暮らせるネットワーク作りを目指しています。

- 活動内容:★家事援助(主に高齢者対象で掃除、食事作り)
★病院通院の介助
★入院時の洗濯 など
※3時間程度の基礎研修を受けていただきます
- 活動日時:活動できる曜日・時間を登録していただきます
- 活動場所:主に仙台市内
- 申込方法:下記連絡先まで申込
- 主催:(特活)ゆうあんどあい
- 連絡先:仙台市宮城野区榴岡5-13-18 リラ榴岡
TEL:022-792-7020

登録ヘルパーさん募集!

日本三景・松島湾内の離島(塩竈市)でああなたの資格をいかしてみませんか!

高齢化率の高い島でも安心して暮らせるよう支援活動を行っています。

- 活動内容:一人暮らし高齢者の見回り、生活補助、サロン活動の運営など
(適性に合わせてできる範囲で参加頂けます)
- 活動日時:月1でも、週1でも可能。
- 資格:ヘルパー2級以上
- 時給:1200円
- 交通費:船賃全額支給。お住まいから塩竈港までの交通費は距離により相談。
- 募集主体:(特活)浦戸福祉会
〒985-0192 塩竈市浦戸桂島字庵寺34
TEL:090-4360-0065
E-mail:urato@gaku-com.jp
URL:http://ameblo.jp/npo-urato/

お知らせ

協働事業・自助グループ支援事業「募集説明会」 ~あなたの“やりたい”を“できる!”に~

「男女共同参画推進」に向けて、協働するグループや企画を募集します。今回はその説明会を開催します。一緒に男女共同参画をすすみましょう!
※各協働事業への応募にはこの説明会への参加が必須になります。

- 日時:・4月4日(水) 18:30~
・4月8日(日) 10:00~
・4月12日(木) 10:00~ ※全日程同内容
- 場所:エル・ソーラ仙台 研修室
- 内容:(1)企画協働:財団スタッフと一緒に、イチから事業をつくりましょう。プロセスの共有を大切にすすめます
(2)市民企画支援:グループにやりたい企画があるときにおススメ。会場使用面でのサポートがあります
(3)自助グループ支援:自助グループのミーティングをエル・パーク、エル・ソーラで開催しませんか?年間予約により、定期的な開催ができます
- 申込方法:不要
- 主催:財団法人 せんだい男女共同参画財団
- 連絡先:総務企画課
TEL:022-212-1627(平日9:00~17:00)

TOMODACHIサマー2012 ソフトバンク・リーダーシップ・プログラム

東日本大震災の被災地域の高校生を対象とし、全面的に支援するプログラムです。夏休みの3週間を利用して、カリフォルニア大学バークレー校でリーダーシップスキルと地域貢献

宮城のNPOは復興に向かって頑張っています！

復興ingみやぎ with NPO

復興ingみやぎ
with NPO

みやぎの復興支援活動をしているNPOの紹介サイトです。

被災地の復興は、被災した私たち自らの力で、立ち上がっていかねばいけません。
その原動力となって被災地で活動している宮城県のNPOを、ぜひ知っていただき、
これからも応援をお願いします。

設置 宮城県環境生活部共同参画社会推進課

運営団体 NPO法人社の伝言板ゆるる

<http://miyagi-fukkouing.jp>

50歳からのNPO実践塾 第11期

主催 宮城県(みやぎNPOプラザ)

企画実施 特定非営利活動法人社の伝言板ゆるる

事業目的 シニア世代のNPO活動への参加促進のために月に2回程度(6回連続講座)のペースで連続講座として開催し、NPO団体の立ち上げやNPOでの継続活動の実践につなぐ。

定員 16名(申込先着順)

参加費 4,500円(資料代など)

※NPO一日体験やそれにあたりのマッチングは、修了後に希望があれば、その都度対応する。

事業概要

- 1 対象者…『団塊の世代』を中心とした50代以降の年齢層
- 2 実施回数…6回
- 3 実施日時…土曜日の午後 14:00~16:30 2時間30分
- 4 実施内容…講義2時間、懇談タイム30分(参加自由) [日程]5~7月(予定)

- 第1回 5月12日(土) [まずは顔合わせ&NPOとは]
塾生同士の紹介をしながら仲良くNPOの基礎知識を学びましょう
- 第2回 5月26日(土) [ワークショップ「キャリアの棚卸」]
自分を振り返り、何ができるか? どう貢献するかを探ります
- 第3回 6月9日(土) [実践者から聞く]
実際にNPOを立上げ、運営に携わっている方をお招きしてお話を聞きます
- 第4回 6月23日(土) [NPO設立のポイント]
法人設立のポイントや定款の大切さについて学びます
- 第5回 7月7日(土) [NPO立上りプランニング・ワークショップ]
実際に自分が立上げたいNPOについて考え、塾生同士で意見交換をし、活動計画を立てましょう
- 第6回 7月21日(土) [NPO活動プラン発表会・修了式]
第5回目に立てた計画を各自発表し、実現の可能性を探ります